

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)	水産振興課(水産振興担当)		
事務事業名	漁業後継者担い手確保育成支援事業	事業番号	12535
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-1 農林漁業の担い手対策
	施策目標	豊かな農林漁業を次世代につなぐまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	漁業者
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①根室市漁協青年部連絡協議会(PR販売促進事業、きれいな漁港づくり事業、異業種交流事業等) ②北海道立漁業研修所総合研修に係る助成	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	根室市漁協連絡協議会の活動を通じ、次代を担う漁業後継者の資質向上を図るとともに、北海道立漁業研修所への入所を支援することにより、漁業後継者の確保を図る。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 漁協青年部協議会事業参加者数	70人	70人					80人	90人
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H27予算		H27決算		H28予算		
		930		864		947		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		930		864		947	
人員(人工)				0.17		0.17		0.17
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)				1,374		1,374		1,374
総事業費(=事業費+職員人件費)				2,304		2,238		2,321
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				32		31		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	新規漁業者の受入・支援体制について、関係機関と連携して協議するために、新たな協議会の設立について検討している。
今後の動向・市民ニーズなど	漁業経営者、漁協等にとっても若年漁業者の育成は必要であり、本事業の有効性、また、市民ニーズもあるものと考えられる。今後は新規漁業者の受入れ・支援体制の整備等について協議を進めていかなければならない。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	PR販売促進事業、きれいな漁港づくり事業など各漁協青年部が協力して事業に取り組んでおり、若年漁業者の資質向上に有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 4漁協をまとめるための事務局は市が行う必要があると考える。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 新たな協議会を設立した場合、事業内容の整理が必要である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 協議会への補助や漁業研修所入所に係る助成が主なものであるため、現時点ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 後継者不足は漁業者だけの問題ではないので、他の団体と連携した取り組みなど可能性はある。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 市内4漁協から負担金をいただいている。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替 ) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月

平成28年8月

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)	農業委員会		
事務事業名(事業番号)	農業後継者対策事業	事業番号	10790
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-1 農林漁業の担い手対策
	施策目標	豊かな農林漁業を次世代につなぐまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業後継者
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①ファームinねむろ(農業後継者と都市女性との交流会)②ふれあい交流促進事業(農業後継者との交流会)	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	農業後継者の成婚を図る	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 農業後継者の成婚数	2組	2組					5組	8組
2 「ファームinねむろ」等参加者数	12名	8名					20名	20名
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			H27予算		H27決算		H28予算	
			457		450		450	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		457		450		450	
人員(人工)								
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)			457		450		450	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			228.5		225.0			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)			38.0		56.2			

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	ファームinねむろの開催について、10月に開催をしていたが、別海町の農業後継者の交流会と重なり女性参加者が集まりずらくなるため、開始日の変更を検討した。
今後の動向・市民ニーズなど	参加者の固定化はあるが、要望はあり今後も続く予想される。

#### 5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	平成27年度は2組が成婚に至ったことから有効と考える。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 基盤産業である農業の発展のためには、市として責任がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	■ある □一部ある □ない 出会いの場、きっかけの提供を数多くつくる必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 基盤産業である農業の発展のためには、必要な事業である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 国からの農業交付金が負担金として事業に充てているので、不可能である。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある 事業参加者から負担金等を徴収しているが、現在のところ見直す考えはありません。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月

平成28年8月